

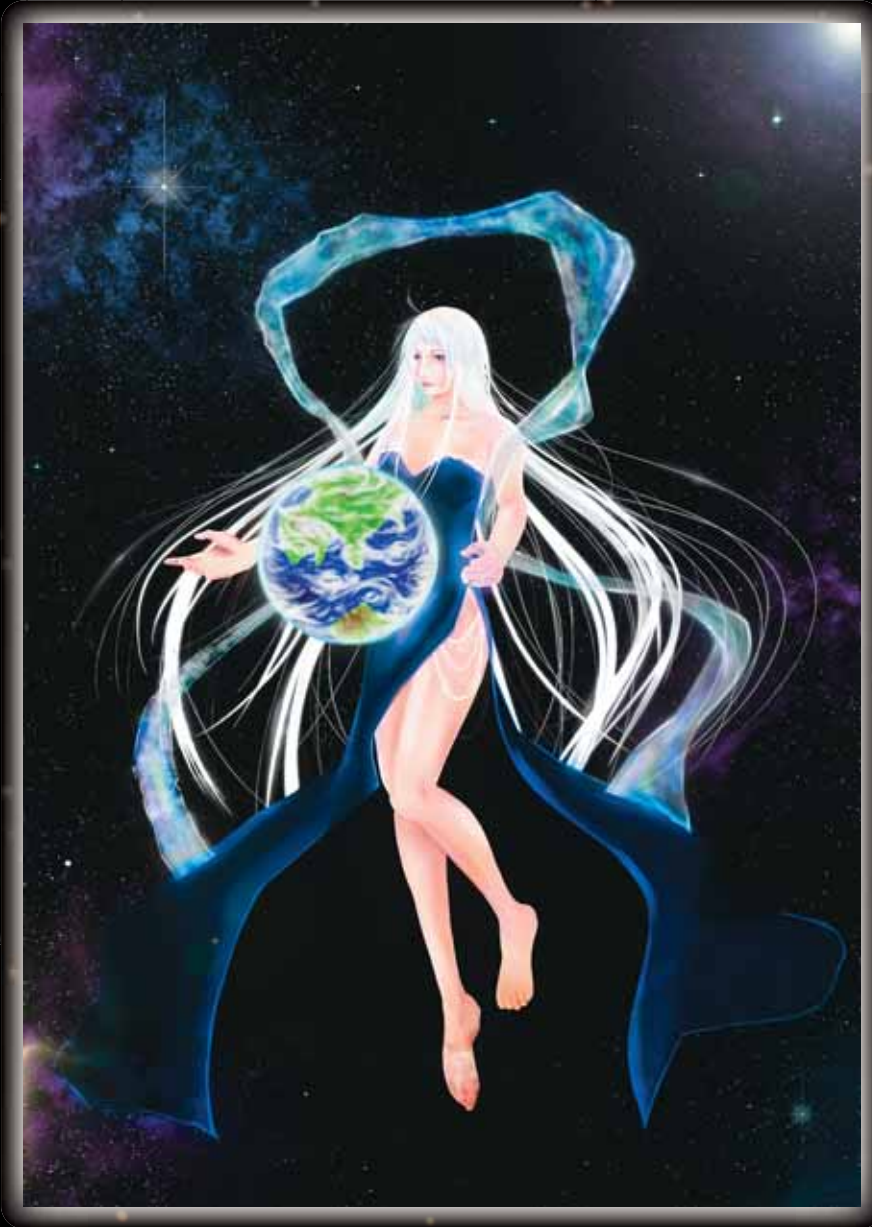


©松本零士/郡山市

ほしのうみ

—SPACE PARK NEWS—

53号
.....
2014
WINTER



第14回コンピュータグラフィックス展
静止画部門「天宮」名誉館長賞「原点回帰」
酒井 麻珠さん(郡山市・一般)



スペース//II-7
郡山市ふれあい科学館

スペースパークギャラリー
第14回コンピュータグラフィックス展
平成26年度宇宙の日全国小中学生作文絵画コンテスト



星空ガイドンス ~星空と宇宙を楽しむ~
冬版「2015年の星空を楽しもう!」



星空ガイドカレンダー(1~3月)



さいえんす Recipe ~科学を楽しむ~
冬版『ゴムの科学』



スペースパークイベントレポート

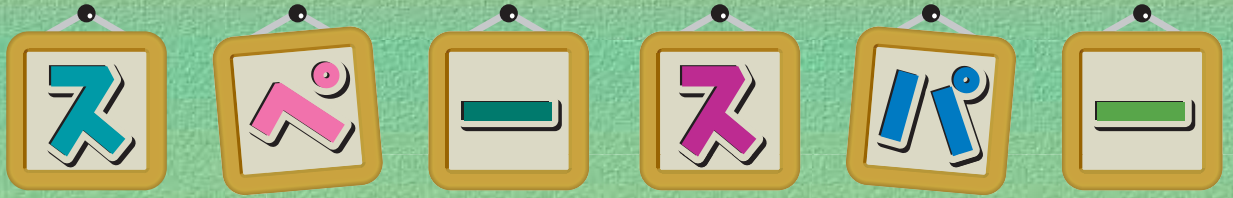


スペースパークブックアラカルト
~おすすめの本を楽しむ~



スペースパークインフォメーション





第14回

コンピュータ グラフィックス展

第14回コンピュータグラフィックス展 受賞作品決定!

CGを「作る楽しさ」「見る楽しさ」に触れていただくことを目的として開催しているコンピュータグラフィックス展も、今年で14回目となりました。

205点の応募作品の中から、審査委員による審査を行って、受賞作品が決定しました!

※静止画部門【大賞】名誉館長賞は表紙をご覧ください。

静止画部門

【準賞】
スペースパーク賞



「宇宙にもいたのか!!」
松本 恵昌 さん
(郡山市立郡山第二中学校2年生)

【準賞】
スペースパーク賞



「広い宇宙の宝物」
安部 秀一 さん
(高知市立横内小学校4年生)

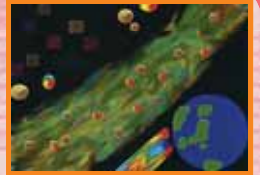
小学生以下の部



優秀賞
「旅のはてに…」
酒井 紳伍 さん
(郡山市立薫小学校6年生)



優秀賞
「うちゅうの天の川」
吉田 朋葉 さん
(玉川村立玉川第一小学校4年生)



優秀賞
「天の川」
山田 夏実 さん
(郡山市立富田東小学校6年生)

中学生の部



優秀賞
「森の秘宝」
井上 ゆう さん
(郡山市立郡山第三中学校1年生)

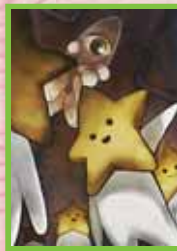


優秀賞
「独創少女の宝星(ホウセイ)」
橋本 羽聖 さん
(郡山市立郡山第一中学校2年生)



優秀賞
「銀河の先で」
小田島 あみ さん
(郡山市立郡山第三中学校3年生)

一般高校生以上の部



優秀賞
「小さな宇宙」
蕪木 瑞希 さん
(国際アート&デザイン専門学校2年生)



優秀賞
「Show! 惑星」
阿部 紗弥加 さん
(国際アート&デザイン専門学校1年生)



優秀賞
「未知なるものの中に」
江尻 誠 さん
(いわき市・一般)

動画部門

大賞 名誉館長賞 「宝探し」 井上 真緒 さん
(尚志高等学校1年生)

準賞 スペースパーク賞

「THIS IS UFO」 大濱 淳樹 さん
(国際アート&デザイン専門学校1年生)

「空のパパ」 岡崎 辰哉 さん・有我 龍太 さん
(国際アート&デザイン専門学校1年生)

学校賞

▶ 郡山市立富田東小学校
(応募数24点)

▶ 高知市立横内小学校
(応募数23点)

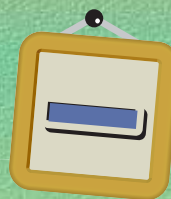
▶ 郡山市立郡山第二中学校
(応募数27点)

審査委員講評

〈西村 憲 審査委員〉

手のかかった意欲的な作品が多く、また遠方からの参加もあり、充実した応募内容だったと思います。タブレットやスタイラスペンを駆使した作品も印象的でした。デザイン性と技術性の双方をいかにうまく組み合わせるかが、賞の獲得に左右したと思います。動画は年ごとに充実してきていますが、まだ3D作品が少ないので、今後の応募が増えることを期待します。

次回の作品募集は平成27年6月ごろの予定です。キミもCGに挑戦してみよう!



平成26年度「宇宙の日」

全国小中学生 作文絵画コンテスト

まもる
毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトル「エンデバー号」で初めて宇宙に飛び立った日を記念し、毎年9月12日は「宇宙の日」となっています。

郡山市ふれあい科学館でも、「宇宙の日」事務局が主催している「宇宙の日」全国小・中学生作文絵画コンテストに参加し、子どもたちから絵画を募集したところ、189点（小学生部門138点、中学生部門51点）の作品をご応募いただきました。たくさんのご応募、本当にありがとうございました。

小学生 部門



優秀賞 佐藤 永彬さん
(郡山市立芳賀小学校2年生)



優秀賞 中村 偉音さん
(郡山市立日和田小学校4年生)



最優秀賞 鈴木 結衣さん
(いわき市立泉北小学校3年生)



佳作 鈴木 ことみさん
(郡山市立行徳小学校4年生)



佳作 七海 陽斗さん
(郡山市立行徳小学校4年生)



佳作 矢内 文香さん
(郡山市立緑ヶ丘第一小学校3年生)

中学生 部門



優秀賞 海上 あみさん
(泉崎村立泉崎中学校3年生)



優秀賞 大塚 朱莉さん
(郡山市立小原田中学校3年生)



最優秀賞 久壽米木 明穂さん
(郡山市立小原田中学校2年生)



佳作 佐藤 凜奈さん
(郡山市立緑ヶ丘中学校2年生)



佳作 田子 綾乃さん
(泉崎村立泉崎中学校3年生)



佳作 柳沼 詩織さん
(郡山市立小原田中学校3年生)

★ 星空ガイドンス

～星空と宇宙を楽しむ～

ふゆ ばん
★ 冬版 ★

2015年の星空を楽しもう!

2015年は星空を楽しむイベントがもりだくさん。代表的な話題や天文現象をご紹介します。

カレンダーにチェックしてお見逃しなく!

●2015年は「国際光年」



2013年12月に行われた国際連合総会で、2015年は「光とその技術の国際年」と宣言されました。2015年は「国際光年 (IYL)」として、さまざまな活動が世界中で行われ、日本でも国際光年にちなんだイベントが行われます。

いくつかのテーマにちなんだ活動が行われますが、なかでも宇宙にちなんだテーマとして「宇宙からの光 (Cosmic Light)」があります。

2015年は、私たちの宇宙の考え方を大きく変えるきっかけとなるアインシュタインが一般相対性理論を発表して100年となります。また、宇宙がビッグバンにより始まったことを知る大きなきっかけとなった宇宙背景放射の発表から50年となります。

この国際光年をきっかけに、こうした宇宙のことに多くの人に興味を持って知るための活動のほか、美しい星空を身近に取り戻すための活動、さまざまな望遠鏡や探査機が捉えた画像から宇宙に親しむ活動、およそ400年前にガリレオ・ガリレイが望遠鏡で発見した宇宙のことを望遠鏡を手に持ち発見できる活動、とさまざまな内容が盛り込まれています。

日本全国で、もちろんスペースパークでも、国際光年にちなんだイベントを行う予定ですので、いろいろな“光”を楽しみましょう。

●前回見逃した人はチェック! 皆既月食

2015年4月4日に「皆既月食」があります。2014年10月8日の皆既月食は郡山をはじめ県内でも多くの場所で観察できましたが、今回もみなさんの起きている時間に見やすい、比較的条件のよい月食です。

— 4月4日の皆既月食 —

月食のはじまり	19時15.4分
皆既食のはじまり	20時54.2分
食の最大	21時00.2分
皆既食のおわり	21時06.4分
月食のおわり	22時45.1分



2014年10月8日の皆既月食の様子 (科学館撮影)
時間が過ぎていくごとに、写真の左から右へとどんどんと月がかけていきます。写真中央の赤い月が「皆既」の状態で、ほんやりとした赤い輝きとなります。

前回と違うのは、月がぼんやりと赤くなる「皆既食」の状態が12分と短いことです。これは月が地球の影にすっぽりに入る時間が短いため、よく見ると赤い月でも比較的明るい部分と暗い部分がある様子も見られるでしょう。空高くに昇った「赤い満月」の不思議な様子を楽しんでください。

●目で見ても面白い天文現象

▶7月1日：金星と木星が大接近

夕方の空で、-4等級の金星と-2等級の木星がとても近くに並んで輝きます。夕焼け空に美しく見られることでしょう。また、すぐ近くにはしし座の1等星レグルスも見られます。前後数日は楽しむことができますので、梅雨の晴れ間にはお見逃しなく！

▶8月13日：ペルセウス座流星群

今年は流星群がよく見られる時間に月が沈んでいるので、流星を見るチャンスです。夜中から夜明け前に、広く空を見渡しましょう。前後数日は流星の数も多くなっています。

▶11月26日：アルデバラン食

おうし座の1等星でオレンジ色に輝く「アルデバラン」が月に隠される現象が起こります。隠れるところは見るのが難しいのですが、18時ごろに月の向こう側からアルデバランが見え始める様子が見られます。双眼鏡だと楽しむことができます。

▶12月上旬：夜明けの空がとっても賑やか

この頃は夜明けの東の空に惑星の金星・火星・木星が並んで輝きます。さらに、おとめ座の1等星スピカが金星と近く、さらに12月6日～8日には細くなった月が惑星たちやスピカと接近して輝きます。日の出前に少し早起きすると、ステキな様子が見られます。

▶12月15日：ふたご座流星群

ペルセウス座流星群と同じく、月明かりで流星が見つらなくなることがなく、観察のチャンスです。ほぼ一晩中見ることができ、前後数日は流星の数も多くなっています。

●気になる宇宙の話題

▶小惑星探査機「はやぶさ2」地球をスイングバイ

一度地球に接近し、そして小惑星「1999 JU3」を目指します。

▶6月ごろから：

油井亀美也宇宙飛行士が国際宇宙ステーションに長期滞在

今後は日本人宇宙飛行士が毎年のように国際宇宙ステーションで活躍することでしょう。

▶8月：探査機「ニューホライズンズ」が冥王星に到着

冥王星の素顔がどのようになっているか、新たな太陽系の姿を教えてくれることでしょう。

★天文現象カレンダー（1月～3月）★

1月

4日 りゅう座流星群が極大

新年に流星を多く見るチャンスです。かつての星座の名前から「しぶんぎ座流星群」とも呼ばれます。

10日 金星と水星が接近

夕焼け空低くに輝く金星のすぐ近くに水星があります。なかなか見つけづらい水星を見るチャンスです。

2月

4日 立春

二十四節気のひとつで、現在の定義では太陽黄経が315度のとき、とされます。「暦のうえでは」とよく言われる、1年のサイクルのはじまりとなります。

7日 木星が衝

かに座で輝き、この頃は一晩中明るい輝きが夜空で見られます。

3月

5日 金星と天王星が接近

夕方の空で明るく輝く金星と天王星が接近します。双眼鏡や望遠鏡で見つけるチャンスです。

21日 春分の日

昼夜平分を迎え、いよいよ春らしさがやってくる頃です。

さいえんあ Recipe

～科学を楽しむ～

冬版

ゴムの科学

いろいろな物をたばねたり、すべり止めに使われたりと、目立たないながら身近なところで大活躍のゴム。今回はそんな「ゴム」にまつわるお話です。

ゴムは何からできる？

ゴムには天然素材でつくられる天然ゴムと、人工的につくられる合成ゴムの2種類があります。天然ゴムは、ゴムノキの樹液に含まれるラテックスという成分が固まって作られます。ちなみにこの「ゴムノキ」、ゴムになる樹液を採取できる木のことをまとめて呼ぶ名前です、その種類は400以上あるといわれています。一方、合成ゴムは石油を原料にして天然ゴムと同じ性質を持つ素材として作られました。



ゴムはいつからあるの？

人間がゴムをいつから使うようになったか、実ははっきりわかりません。今から1500年以上前の遺跡にもゴムが使われていたような痕跡があるようですが、記録に登場するのは、今から500年ほど前です。世界を旅したコロンブスが、ジャマイカに立ち寄った際、そこで子供たちが遊んでいた天然ゴムのボールを見て驚き、持ち帰ったことからゴムがヨーロッパに伝わりました。ゴムノキは、はじめ南米にしかありませんでしたが、ゴムが大量に使われるようになると、他の地域でも栽培がはじまりました。さらに、20世紀になってゴムが大量に必要なになると、合成ゴムがドイツで発明されました。



身近で活躍するゴム

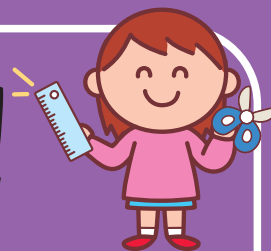
ゴムには、柔らかく、よく弾み、よく伸びて、離すと急速に元にもどる、すべらない、電気を通さないなど、とてもたくさんいいところ（特長）があります。そのため、私たちのまわりでもいろいろなところに使われています。例えば、自動車などのタイヤは走っている時に地面から伝わる衝撃を吸収する役割も果たしています。いろいろなスポーツで使われるボールの多くは、よく弾むようにゴムで作られています。わゴムはよく伸びて離すと元に戻るの、いろいろなものをたばねる時にとっても便利です。靴の裏にはゴムが使われていて、すべらずに歩くことができます。電化製品のコンセントにも一部はゴムが使われていて感電せずにコンセントを使うことができます。このようにゴムは現在の私たちの生活になくてはならないものなんですね。

ところで、ゴムという名前、これは元々オランダ語なのですが、英語では「ガム」、ドイツ語では「グミ」と言います。私たちがお菓子をイメージするこれらの言葉、それぞれの国では、ゴムを意味する言葉なんですね。

それでは最後に、ゴムを使った工作を作ってみましょう。

実験

ゴムで動くコップをつくらう!



ゴムのチカラでおどりだすコップの工作をしましょう。

用意するもの

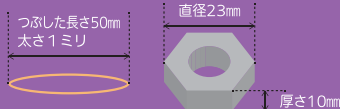
・フタつきの紙コップ

(350ml程度) : 1個

※フタと底の中心に千枚通しなどで直径5mm程度の穴をあけておきます。

・わゴム (#14程度) : 2本

・ナット (W1/2程度) : 1個



・つまようじ : 2本

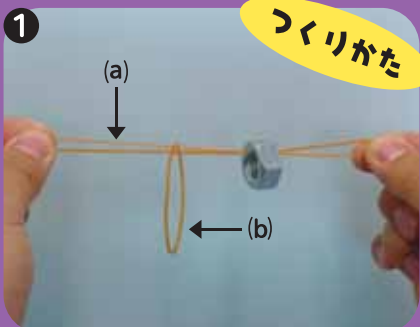
※2~3cm程度に切っておきます。

・丈夫な針金 (20cm程度) : 1本

※片方の先端を釣り針のように曲げておきます。

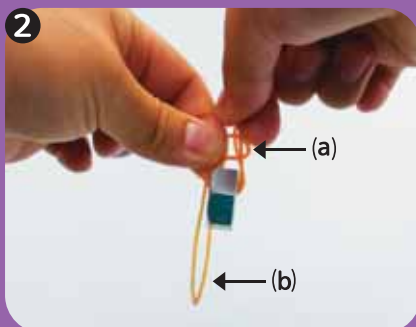
・千枚通し : 1本

※コップの穴あけ用です。

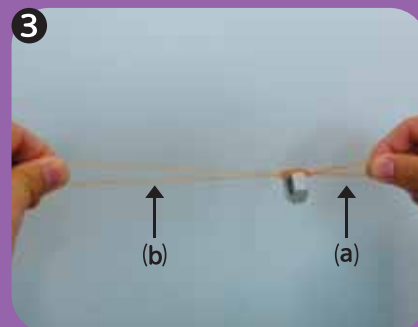


つくりかた

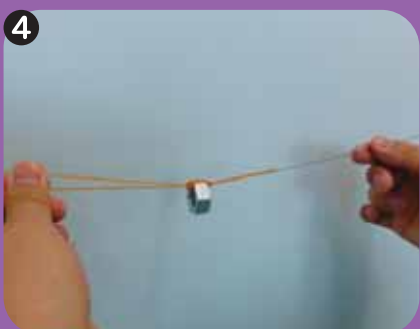
1 一本のわゴム(a)に、ナットともう一本のわゴム(b)を通します。



2 (a)のわゴムの片方の端をもう片方の端に通します。



3 2のわゴムを引っ張って固定します。



4 3のわゴムの片方を丈夫な針金の端にひっかけます。



5 4の針金をフタを開けた紙コップの底の穴へ内側から通し、わゴムまで引っ張り出します。



6 5で出てきたわゴムにつまようじを一本通して、針金を外します。



7 コップの内側のわゴムに針金をひっかけます。



8 7の針金をコップのフタの穴へ内側から通して、わゴムを引っ張りだしたら、わゴムにつまようじを一本通してフタを閉じます。



9 針金をはずしたら完成です。コップに好みの絵を描いても楽しいですね。

あそびかた

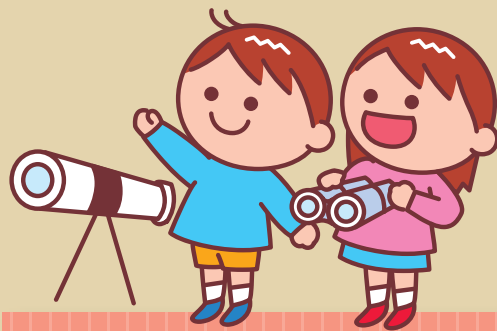


写真(左)のようにコップを持って丸を描くように回します。10回程度回したら、机など平らなところへ置いてすぐに手を放します。すると、コップが動きだします。

どうしてこうなるの?

コップを回すことで、中にあるナットが回ってゴムがねじれ(弾性エネルギーが蓄えられ)ていきます。すると、コップを置いた時に、ねじれたゴムが元に戻ろうとしてナットが回るとその力でコップが動き出すしくみです。

スペースパーク イベントレポート



平成26年7月19日(土)~21日(月祝)、8月13日(水)~17日(日)

サイエンスフェスティバル

郡山市ふれあい科学館では、夏休み期間に科学の実験や工作をお祭り感覚の屋台で楽しんでいただくサイエンスフェスティバルを2期に分けて開催しました。

科学館からは工作屋台の他に、わくわく実験教室や、自由研究ミニ教室など、特別な教室メニューを提供し、フェスティバル限定のサイエンスショーを行うなど、来館した皆さまに大いに楽しんでいただきました。

また、今回も郡山女子大学附属高等学校鈴木先生と生徒の方々や、郡山市立郡山第一中学校園部先生や郡山市立永盛小学校赤間先生、spff大越先生&岡田先生、ムシテックワールドの阿部先生、折紙造形・四季折々の安藤先生やスペースパークボランティアの会の方々など、数多くの方々に工作屋台にご参加いただき、普段見ることが少ない数々の興味深いメニューをご披露いただきました。おかげさまで、いずれも盛況のうちに終了することができました。ご協力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。

下レミ笛をつくる様子
(郡山市立郡山第一中学校園部先生)



ペットボトル内トルネード
(郡山女子大学附属高等学校鈴木先生&生徒)



べっこうあめ作り
(郡山市立永盛小学校 赤間先生)



平成26年9月20日(土)

プラネタリウムコンサート 「星が月に恋をして、月が星に恋をした」

プラネタリウムの星空と生演奏のコラボレーションをお楽しみいただく、プラネタリウムコンサートは、ヴァイオリンとドラムによるアコースティックバンド『デルソール』をお迎えして開催しました。

今回は『デルソール』のmihoさん、長谷頼晃さんと、サポートギターのファルコンさんがステージに登場し、演奏しました。各地のプラネタリウムでのコンサート活動も精力的に行っており、東北地方には今回初登場ということでした。

星や月、そして太陽をテーマとした曲とともに、日が暮れ、星が見え、そして星ぼしのあいだを月がめぐる様子などをゆったりとご覧いただき、曲のあいだには、mihoさんなど、みなさんの星空や曲に込められた想いも語っていただきました。

終始、曲とともに、やさしい雰囲気^{ふんいき}に包まれたすてきなコンサートでした。『デルソール』のみなさん、ありがとうございました。

『デルソール』のみなさん!!



満月とともに



平成26年9月28日(日)

ドーム映像「銀河鉄道999～赤い星ベテルギウス いのちの輝き～」先行試写会

郡山市ふれあい科学館では郡山市制施行90周年・合併50年記念のドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」の先行

盛況な関連展示コーナー



記念のテープカット



松本名誉館長のQ&Aを語る！



試写会を開催しました。

初めに主催者を代表して品川萬里郡山市長から、続いて来賓を代表して佐藤政喜郡山市議会文教福祉常任委員会委員長からご挨拶いただきました。そして、当館名誉館長であり、銀河鉄道999の原作者である松本零士先生からご挨拶と、銀河鉄道999に込められたメッセージをいただきました。「さまざまな思い出のお話とともに、「『999』というのは未完、という意味を持ちます。特に若い人たちには夢を持ち続けてください。」と語っていただきました。

その後、当館での銀河鉄道999号の出発式に当たるテープカットを行いました。テープカットとともに、スクリーン上には銀河鉄道999号の目指すアンドロメダ銀河が映し出され、その後、試写会が始まりました。ドーム一杯に映し出される999や鉄郎、メーテルの活躍にみなさん大興奮でした。

試写会開催にあわせて、23階の関連展示コーナーもオープンしました。銀河鉄道999号との記念写真コーナー、松本零士先生が漫画家としてデビューするまでのあゆみ、銀河鉄道999の原画などが展示され、試写会に訪れた方が興味深げに見ていました。試写会にお越しくださったみなさん、ありがとうございました。

平成26年10月8日(水)

皆既月食観望会

平成26年10月8日に全国で皆既月食が見られました。この月食に合わせ、ミュージカルがくと館と開成山公園自由広場を会場に観望会を開催しました。当日は若干の雲はあったものの終始月食を楽しむことができました。

がくと館内では15cm屈折望遠鏡、外では科学館から持ってきた10cmと8cmの望遠鏡や双眼鏡を用意して、間近に見える月の様子をご覧いただきました。

月食の時間が近づくとつれて、どんどん参加人数も増えていき、途中、月が雲に隠れてもどかしいところもありましたが、欠け始めから終わりまですばらしい変化を楽しむことができました。そして、19時20分頃に皆既を迎えると、参加者のみなさんからは、はっきりと赤い色がわかることに感動の声が上がっていました。

今回の皆既食は1時間ほど続いたため、ゆっくりと赤い月の様子を楽しむことができ、とても有意義な観望会となりました。

平成26年10月11日(土)～13日(月祝)

鉄道の日「鉄道フェスティバル」

郡山市ふれあい科学館では、鉄道が新橋から横浜に開通した10月14日の「鉄道の日」を記念し、東日本旅客鉄道株式会社郡山駅、日本貨物鉄道株式会社東北支社、公益社団法人鉄道貨物協会東北支部との共催で鉄道フェスティバルを開催しました。

今年も恒例のNゲージ鉄道模型の操作体験をはじめ、手回し動力で動くトロッコ「てとろ」など当日は整理券があつという間になくなるほどの盛況で、体験をした参加者はとても満足したようでした。

大人気のプラレールコーナーも小さなお子様に非常に好評で、足の踏み場にも困る盛況の中、親子でいろいろなレイアウトを楽しみながら、みんなと仲良く列車を走らせていました。

また今年から新登場の手回し発電ミニジオラマコーナーでは、自ら発電した電力で進むNゲージの車両に、お子様も大興奮でチャレンジしていました。

そして今年の鉄道フェスティバルでも、当館のスペースパークボランティアの会(S.P.V)の皆さんが、入場記念切符にはさみを入れたり、貴重な鉄道資料の解説や工作コーナーなどで大活躍でした。

フェスティバルに関わった皆さまに心から感謝いたします。ありがとうございました。

皆既月食を観望しよう



皆既中の月撮影
科学館職員(左)と観望者(右)



切符を拝見！



手回し発電ミニジオラマコーナー



大盛況プラレールコーナー



スペースパーク ブックアラカルト

～おすすめの本を楽しむ～

ASTRA

たかさご じゅんじ
高砂 淳二／写真

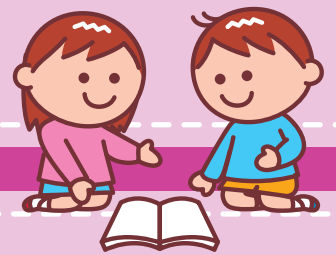
今回紹介するのは、自然写真家の高砂淳二さんが撮影した、夜空の写真集です。世界約20か国を巡り撮影された、美しい夜の風景を見ることができます。

イースター島でのモアイ像たちが星空を見上げているような写真、ウユニ塩湖で撮られた360度星空の写真、夜の浜辺で撮られたウミガメの写真、イエローナイフでの数々のオーロラなど…。日本を飛び出して夜空を見上げると、こんな空もあるのだと驚くほど、見たことのない星空の写真ばかりです。一度は本物の、こんな夜空を見てみたいと思わせる風景が紹介されています。

世界中の夜空を切り取った写真たちを、ぜひご覧ください。

書誌情報

『ASTRA』 高砂淳二／写真 小学館／発行
2014年／発行年 ISBN:9784096820926



好奇心をそだて考えるのが好きになる

科学のふしぎな話 365 日本科学未来館／監修

ふだんの生活の中で出会うさまざまな疑問。科学にまつわる「なぜ？」について、今回は、イラストや図解を多く用いてわかりやすく解説している本をご紹介します。この本では、お子様が疑問に感じ、かつ、ご両親が簡単には説明できない多くの疑問を10のジャンルに分けて、難しい表現をさけて解説しています。また、疑問に関する答えや解説だけでなく、宇宙・天気・からだ・いきもの・分子などがいったいどういうものなのかを紹介するページや、歴史的に有名な科学者を紹介するページも盛り込まれており、科学がとても身近なものであると感じさせてくれる一冊となっています。

オールカラーで見やすく、ちょっとした実験や工作も行うことができ、飽きのこない内容です。読書や理科が苦手なお子様でも楽しく読み進められますので科学に関する興味が広がり、自分で考える力が育つものと思います。大人の方にもおすすめです。ぜひご家族で読まれてみてはいかがでしょうか？

書誌情報

『好奇心をそだて考えるのが好きになる 科学のふしぎな話365』
日本科学未来館／監修 株式会社ナツメ社／発行
2012年／発行年 ISBN:978-4-8163-5327-7



スペースパーク インフォメーション

寒さ？
関係ないない！
最新設備で
いつもあったが
スペースパーク



宇宙劇場

★プラネタリウム一般番組

美しいプラネタリウムの星空と、デジタルプラネタリウム機能を持つ全天ビデオシステムによる大迫力の映像で、さまざまな宇宙の旅へとみなさんをご案内する、プラネタリウムのスタンダードプログラムです。

太陽の表情 (1月～2月)

私たちにとって最も身近な天体である「太陽」。太陽ではフレアやプロミネンスなどのダイナミックな様子が見られます。太陽はどんな表情をしているのでしょうか？太陽に迫ってみましょう。



©NAOJ/JAXA

星空のデザイン～消えた星座～ (3月～4月)

星たちを結んで描かれる星座は、古くから人々が星空を見上げ描かれたすばらしいデザインと言えます。現在私たちが用いている88個の星座たちの姿のほかにも、世界各地でさまざまな姿が描かれました。また、時代によっては星座が多数作られて、同じ場所に違う星座が描かれたこともあります。長い歴史の中で、現在は用いられなくなった「消えた星座」たちの姿をご紹介します。

★キッズアワー

宇宙からおめでとう！ ～クリスマスとおしょうがつ～ (12月～1月12日(月))

クリスマス、お正月とにぎやかで楽しいとき、プラネタリウムでもクリスマスとお正月を楽しみましょう。星空からのプレゼントがみなさんにも届きます。

ほしぞらのカーテン ～オーロラのたび～ (1月17日(土)～3月)

あたたかいプラネタリウムで、北の国へオーロラを見る旅に出かけましょう。星空にカーテンのように見られるオーロラの輝きはとても美しく、さまざまな形や色に変化もしていきます。

★星と音楽のひととき

流れ星を見つめて ～流星に願いを～ (12月～1月)

夜空を流れる一筋の輝きに私たちは願いを込めます。空の澄んだ冬の夜空を見上げ、流れ星に願いを込めた歌と共に流れ星を探してみよう。



©国立天文台

星空のラブソング (2月～3月)

星空の下でロマンチックなひとときを過ごしてみませんか？季節を巡りながら星空の中に描かれる恋模様を見ていきましょう。

展示ゾーン

★サイエンスショー

●あっ！と驚く圧力の科学 (1月～2月) …運動靴とハイヒールでは、踏まれたときに痛いのはどっち？ 私たちが普段感じる「圧力」を、目に見える実験で紹介しします。

●ピタッと磁石で大実験 (3月) …磁石のひみつを、いろいろな実験を通して解き明かします。きっとあなたの知らない磁石の世界が見えてくる！

★サイエンススタジオ

●カラダで科学でさいえんす (12月～1月) …わたしたちの体には、ふしぎがいっぱい。体を使って実験だ！

●氷のふしぎ (2月) …氷を使っておもしろ実験！南極の氷にも触って、氷のふしぎを体験しましょう。

●鏡に映る自分は本当の自分？ミラーの科学 (3月) …いろいろなものを映す鏡。今回は鏡を使って実験しましょう。

★デジタルスタジオ

●下じき作り (1月) …A4サイズの下じきを作ります。これで勉強もはかどっちゃうかも！

●スクラップブック風カード作り (2月) …写真やイラストを入れた、スクラップブックのようなカードを作っていくよ！

●名刺作り (3月) …オリジナルの名刺を作ろう！10人のお友達に配れるよ。自己紹介に使ってね。

★サイエンス広場

●飛ばして遊ぼう (1月) …どこまで高く飛ぶのかな？作って確かめてみよう！

●熱で遊ぼう (2月) …寒さに負けるな！熱に関する工作をしよう！

●空気で遊ぼう (3月) …何の力を使って走るのかな？作って遊んでみよう！

編集後記

◎寒いときは家でぬくぬくコタツムリ。じっと春まつ日和かな。(T)

◎だんだん朝が寒くなって、起きづらくなってきました。寒い朝は苦手ですが、部屋にこもらず、外に出て季節を満喫したいと思います。(M)

◎テレビCMでゴルフバックを載せるために車の屋根を切り取ってしまう軽自動車のCMが大好きです(笑)。(梅)

■事業課 ほしのうみ編集部

スペースパーク インフォメーション案内&募集

特別行事のご案内

第27回星の講演会「太陽と私たちー太陽の素顔に迫るー」

最も身近な天体である「太陽」について、天文学者の先生からわかりやすく紹介していただきます。最新の研究結果とともに明らかになってきた太陽の素顔に迫ります。

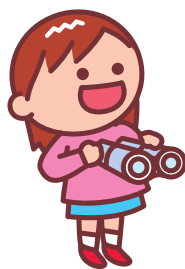
日時：平成27年2月28日(土) 16:00~17:15
 場所：科学館23階宇宙劇場
 講師：磯部洋明（京都大学 特定准教授）
 料金：無料
 定員：各回220名（先着順）
 募集：平成27年1月31日(土)10時より電話もしくは科学館直接申込。
 ※1回あたりの申込は10名以内とさせていただきます。
 ※開催当日の第4回目~第5回目の宇宙劇場番組投映は休止となります。



おもしろ科学びっくり箱 「親子で挑戦！本当にもどってくる？ ブーメランを作ろう」

誰も教えてくれなかったブーメランづくりのコツをマスターしよう。難しい科学の話よりも、ものづくりの視点で考えます。

日時：1月25日(日) 14:00~15:30
 場所：多目的研修室（20階）
 講師：岡田 努さん（福島大学教授）
 対象：小学3年生以上の親子ペア
 （※小学5年生以上は一人でも参加可）
 定員：先着30組（参加無料）
 申込：12月20日(土)10時より、
 電話または22階インフォメーションにて受付 ※休館日を除く。



ご利用案内

宇宙劇場番組開始時刻（各回とも約45分番組）

	平日	土・日・祝 12/24~27 1/5~7	年末年始 12/28~30 1/2~4
第1回目	10:15 (学芸)	11:00 (キッズ)	11:00 (キッズ)
第2回目	11:30 (学芸)	12:30 (一般)	12:30 (一般)
第3回目	14:00 (一般)	14:00 (キッズ)	14:00 (キッズ)
第4回目	15:30 (星と音楽)	15:30 (一般)	15:30 (星と音楽)
第5回目	19:00 (星と音楽)金曜のみ	17:00 (星と音楽)	—
第6回目	—	19:00 (星と音楽)金曜のみ	—

※学校向け学習番組(団体利用のないときは一般番組を投映します)。
 ☆ほかにもイベント等により変更となる場合があります。

利用料金

	宇宙劇場	展示ゾーン	ワンイヤーパスポート
一般	400円	400円	4,000円
高校生・大学生等	300円	300円	3,000円
小中学生	200円	200円	2,000円
幼児・65歳以上	100円※	無料	—

※幼児が席を使用しない場合は無料となります。 お申し込み日から一年間有効

開館時間	平日/10:00~16:15 (入場は15:30まで) 金曜日/10:00~19:45 (入場は19:00まで) 土・日・祝日/10:00~17:45 (入場は17:00まで)
展示ゾーン	10:00~17:45 (入場は17:00まで)
休館日	(展示ゾーン・宇宙劇場) 毎週月曜日 (その日が祝日の場合は、その翌日) 12/31・1/1・1/19~23 ※1/1・19~23は展望ロビーも休館
展望ロビー	10:00~20:00 (無料)

団体割引20名様以上 20%OFF

●展示ゾーンのイベント開始時刻…くわしくは、お問い合わせください。

平日	10:30 ショー	11:30 スタジオ	13:00 ショー	14:30 スタジオ
土・日・祝 12/24~27 1/5~7	10:30 ショー	11:30 スタジオ	12:30 ロボット	13:30 デジスタ(土) 広場(日・祝)
			14:30 スタジオ	15:30 ロボット
				16:00 ショー

●ショー/サイエンスショー スタジオ/サイエンススタジオ ロボット/ロボットショー デジスタ/デジタルスタジオ 広場/サイエンス広場
 ※イベント等の都合により休止する場合がありますので、ご了承ください。
 ●年末年始期間(12/28~30・1/2~4)は、ショー・スタジオ・ロボット・デジスタ・広場は中止です。



スペースパーク | 検索
 ホームページ検索もカンタン!



紙ヘリサイクル可
 この印刷物は、環境にやさしいFSC® 認証紙と植物油インク、使用しています。



郡山市ふれあい科学館
 (公益財団法人 郡山市文化・学び振興公社)

スペースパーク

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11-1 ビッグアイ20~24F
 TEL.024-936-0201 FAX.024-936-0089
 メールアドレス info@space-park.jp ホームページ http://www.space-park.jp

